

日本発の農林水産品航空輸送の実態・課題などを調査

「地域産業の活性化に資する輸出力強化に向けた航空貨物輸送の市場実態に関する調査研究（中間報告）」報告書の公表

国土交通政策研究所では、航空輸送による農林水産品等の輸出をより一層促進させることを目的に、農林水産品航空輸送に係る概要調査、輸送コスト形成のしくみに関する調査及び輸送における問題点・課題の整理を行い、農林水産品航空輸送に必要な対応策の検討を行いました。

(1) 背景と目的

我が国では地域産業の活性化のため、「農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律」(令和2年4月施行)や、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」(令和2年12月決定)等により、農林水産品の輸出拡大を政府一丸となって推進しています。

本調査研究は、日本発の航空貨物輸送の実態・課題及び世界的な航空貨物輸送の市場や運賃決定の実態について把握し、航空輸送による農林水産品等の輸出をより一層促進させることを目的として、2020年度から2ヵ年計画で実施しています。

(2) 調査研究の内容

2020年度は農林水産品航空輸送に係る概要調査、輸送コスト形成のしくみに関する調査及び輸送における問題点・課題の整理を実施しました。(下記に調査結果概要を一部記載)

○航空貨物輸送が選択される品目の特徴

・輸送品の価格が高い品目 ・鮮度(短時間輸送)を重視する品目

○農林水産品の航空貨物費用の特徴

・航空機搭載の高い優先度や保冷管理など農林水産品特有の対応が必要なため、一般貨物にはない特別なコストが必要。

・航空輸送は機内スペースに限りがあり、船舶と比較すると供給能力に制約があるため、航空輸送費用は需要変動の影響を受けやすい。

○航空貨物輸送の問題点

・梱包・保冷の非効率性が作業時間(効率性)、コスト(特別な対応費用)、物量(荷姿の不統一による非効率な搭載)などに影響

■ 2021年度は、地方空港の活用につながる農林水産品の輸出促進ターゲット品目の整理ならびに地方空港からの農林水産品輸出の諸問題の整理及び解決策の検討を実施します。

■ 本調査研究の概要は別紙を、本調査研究の詳細は全体報告書をそれぞれご覧ください。(全体報告書については、下記 URL よりアクセスしてください)

[全体報告書] <https://www.mlit.go.jp/pri/houkoku/gaiyou/kkk162.html>

<問い合わせ先>

国土交通省 国土交通政策研究所 鈴木、金原
〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-1 四谷タワー15階
電話: 03-5369-6002(内線 207) FAX: 03-5369-6009
E-Mail: hqt-inquiry-pri@gxb.mlit.go.jp

政府方針

農林水産品の輸出拡大 の推進

農林水産品の航空貨物輸送における問題

- 運賃実態の不透明さ ● 輸出における運賃の高さ 等

◎ 世界的な航空貨物輸送の市場や運賃決定の実態

◎ 日本発の航空貨物輸送の実態・課題 について調査



令和2年度
調査内容

- 農林水産品の航空輸出の概要調査
- 航空貨物運賃形成の仕組みの調査
- 農林水産品の航空輸送の問題点把握
- 航空輸送の課題の整理

【結果の概要】

航空貨物輸送が選択される品目の特徴

- 輸送品の価格が高い品目 (例: 牛肉)
- 鮮度(短時間輸送)を重視する品目 (例: 鮮魚(冷蔵で輸送))

農林水産品の航空貨物費用の特徴

- 航空機搭載の高い優先度や保冷管理など農林水産品特有の対応が必要 → 精密機器等よりもコストは上がる傾向
※航空運賃: 1割増、フォワード料金: 1kgあたり100円上乗せ
- 需要と供給の関係、競合路線の有無で変動
※航空輸送は機内スペースに限りあり → 供給能力に制約
→ 航空貨物費用は需要変動の影響を受けやすい

航空貨物輸送の問題点の把握・整理

- 梱包・保冷の非効率性が作業時間(効率性)、コスト(特別な対応費用)、物量(荷姿の不統一による非効率な搭載)などに影響

今後の課題

- ① 輸出促進ターゲット品目の整理
- ② 輸出促進に向けた地方空港活用上の課題及び対応の検討

令和3年度
調査予定

【調査の目的】

- 各地方の農林水産品の特色を地方空港の活用促進に結びつける方策案の整理
- 地方空港起点の諸問題に対する解決策の提案

【調査の概要】

→ 地方空港からの輸出促進に必要な施策案をまとめる

地方空港の活用に繋がる農林水産品の輸出促進ターゲット品目の整理

- * 事例調査 ※各地域の特徴を生かしたターゲット品目の調査 (例: 新千歳空港 (ホタテなどの海産物) など)
- * 輸出促進が期待される品目の調査
※各国特有の嗜好を考慮 (例: インドネシア・・・甘いフルーツなど)

地方空港からの農林水産品輸出に伴う諸問題の整理、解決策の提案

- 「品質(保冷)」「時間」「コスト」「物量」「制度・手続き」の5つの物流要素に着目し次の調査を実施。
- * 効率的な梱包・保冷等に関する国内外の事例調査
⇒ 梱包・保冷の効率的な手法の整理(例: 梱包形態の統一)
- * コスト構造分析 ※R2年度に把握したコスト上昇要因を基に分析
⇒ 輸送コスト減につながる方策案の整理(例: 複数産地連携による物量確保)
- * 日本及び海外主要国における航空輸出の制度・手続き関係の詳細調査 ⇒ 日本での活用可否の検討
- * 空港での運搬、空港施設等の鮮度・保冷に注目した諸課題を調査
⇒ 対応策の整理